



第4章

活力とにぎわいのある都市づくり

第1節 たくましい産業の振興

第2節 にぎわいのある商業振興

第3節 港まちとしての観光振興

第4節 活力ある農林漁業の振興



第4章のポイント

- ・第4章は、市民や事業者の経済条件を維持・向上し、活力ある都市づくりのための施策

わたしたちの基本的な生活条件については、第3章で基本的な条件整備の施策を示しています。第4章ではこれを維持・向上するため、産業振興の視点に立ち、それぞれの産業分野で施策を示しています。

これからの工業振興のキーワードは、「産業団地」「港」「エネルギー」

これまでの工業振興策に加え、今後のキーワードは「産業団地」「港」「エネルギー」の3つと考えられます。

新しい工業振興の重要な基盤（ハード面）が産業団地であるとともに、物流機能の向上した港であり、技術（ソフト面）ではエネルギー関連の高度な技術の活用が重要になります。

商業と観光の連携による相乗効果

駅前から中心市街地を通り、港を結ぶエリアは、商業機能や観光スポットが集積しています。JR直流化によって、敦賀駅を降りる来訪者は中心市街地にも訪れるため、商業空間にも観光客向けの魅力向上が求められます。

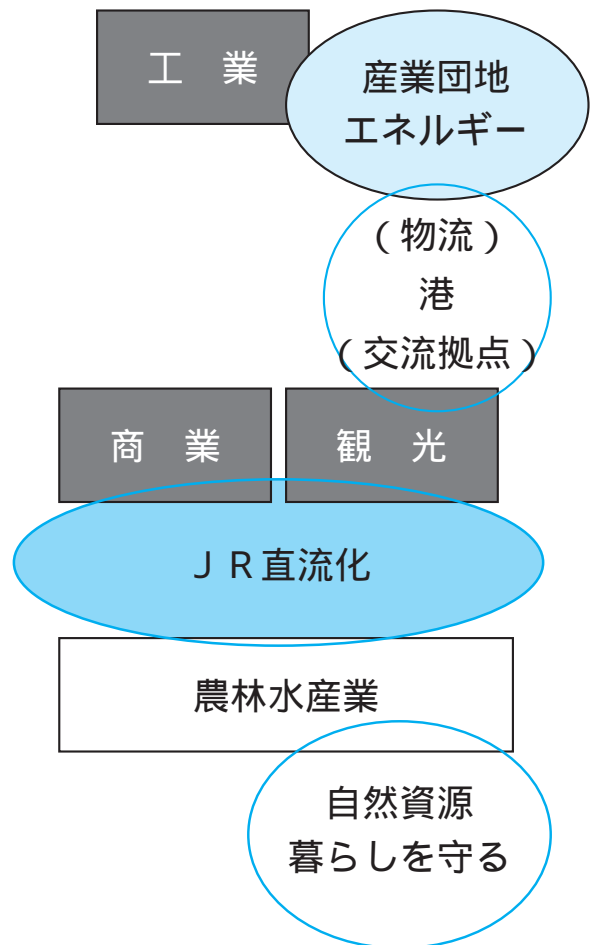
そこで計画では、これまでの商業・観光振興策に加え、JR直流化を見込んだ施策を積極的に盛り込んでいます。

農林水産業の振興にも観光の視点を加える

第1次産業である農林水産業は、従事者が全国的に減少傾向にあり、産業の維持が課題となっています。

近年、グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムといった、自然にゆったり触れることを目的とした来訪が注目されています。このことから、計画では農林水産業の振興についても、観光の視点が加えられています。

また、農林水産業は貴重な自然資源であり、わたしたちの暮らしを多面的に支えています。そのため、産業振興に限らず、暮らしを守るという意味でも維持が求められています。



第4章の施策体系、主な事業

工業の振興

企業誘致と
インキュベート機能の導入
(事業) 産業団地への企業誘致
中小企業の育成強化

貿易・流通

国内外航路の拡充・開設
(事業) 環日本海地域や東南
アジアとの新規航路開設
ポートセールスの推進及び
貨物利用の促進
貿易・流通関連企業の誘致

エネルギーと地域振興

原子力・火力発電所
(事業) エネルギー
関連企業の誘致
エネルギーの啓発

勤労者雇用環境

就業機会の確保
(事業) 産業団地への企業誘致
勤労者の生活の安定と施設提供

商業の振興

商店街への集客支援
(事業) 空き店舗対策事業
経営基盤の強化
卸売市場
(事業) 水産卸売市場の改築

観光の振興

港まちらしい街並みの整備
(事業) 港の修景整備、
ライトアップ
自然・歴史資源、温泉の活用
(事業) 遊敦塾(ゆうとんじゅく)
の展開
ソフト施策の展開
(事業) 観光地を結ぶ
多様な交通手段の確保

農業の振興

農業経営の基盤強化
体系別生産対策
生産基盤の整備
交流事業の推進

林業の振興

森林資源の整備
林道の整備
担い手対策
交流事業

漁業の振興

水産資源の保全
漁港の整備促進
(事業) 立石漁港整備
(事業) 浦底漁港(色浜)整備
漁業観光
(事業) 遊敦塾(ゆうとんじゅく)
の展開
(事業) 水産卸売市場の改築

工業の振興

企業誘致で地域経済を振興したい
安定した工業経営をしたい

工業の振興に向けて

本市の産業構造は卸売・小売業及びサービス業が中心となっていますが、製造業など工業についても地域経済を支える基盤として、振興を図ることが求められます。

日本立地センターが発表した敦賀都市圏（敦賀市、美浜町、旧三方町）の経済分析結果では、製造業の低迷が懸念され、就業者数の減少や域外収支の赤字が見られます。

産業団地の整備による新たな工業の誘致

本市では地域経済の安定した発展を目指し、平成18年度に産業団地が完成しました。現在2社の立地が決定しており、新しい敦賀の産業基盤として大いに期待されています。

産業団地にすべての企業が立地した場合、500人以上の雇用が見込まれています。



産業団地

エネルギー研究開発拠点化計画

平成16年度に「エネルギー研究開発拠点化計画」が策定されました。嶺南地域には昭和45年に日本初の商業用原子力発電所として運転開始して以降、15基の原子力発電所が立地し、関西で消費される電力の約6割を供給しています。このように原子力発電は嶺南地域の重要な産業として定着していますが、研究機関や人材育成機関の集積、地域産業との連携、技術移転を積極的に進めていく取組みが十分ではありませんでした。

今後、嶺南地域を単なる原子力発電の「工場」にとどめることなく、その集積を活かして原子力・エネルギーに関する研究開発拠点へと発展させていくことが必要です。また原子力発電を重要な地場産業として、立地地域の工業の振興に寄与する裾野の広い産業に転換することが求められています。

中小企業の経営安定に向けて

中小企業は、高い技術力を誇る企業が多い反面、経営基盤の強化が求められます。そこで行政は、中小企業の経営安定に向けた支援を行う必要があります。

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
製造品出荷額	製造業の振興状況を表します。目標値は、設定しません。	1,353	-	億円
製造業従業者数		4,599	-	人
敦賀市産業団地の売却済み面積	産業団地における工業の進出状況を表します。	29.13	100.00	%

(1) 企業誘致とインキュベート機能の導入

新規企業の誘致

- ・産業団地への企業誘致を積極的に進め、新規企業の立地を促進します。
- ・産業団地への企業立地を促進するため、電源地域ならではの優遇策に加え、県・市独自の優遇策を併せ、支援を行います。
- ・新たな産業基盤の整備など、企業立地をさらに進めます。
- ・産業団地に限らず、広く技術集約型の中小企業を誘致し、地域経済の基盤強化を図ります。

エネルギー関連企業の誘致及び起業化のバックアップ

- ・エネルギー関連企業を誘致し、地場産業としてのエネルギー産業の振興を図ります。
- ・地元工業の振興のため、エネルギー関連技術を応用した新分野の事業創出に対し、積極的に支援します。
- ・低金利の融資制度等により、起業化への支援を行います。

(2) 中小企業の育成強化

助成・融資制度の充実

- ・国・県の各種助成や融資制度の活用を促進し、中小企業の経営安定と新事業活動による経営向上を図ります。
- ・市の各種助成・融資制度を拡充し、中小企業のニーズに応じた支援を行います。
- ・技能講習や研究に対する助成を実施し、中小企業の技術力向上を支援します。

企業間ネットワークの構築等による人材育成と技術力の向上

- ・産・学・官の連携による研究に対して支援し、地域の知的財産を総合的に活用した技術力の向上を図ります。
- ・中小企業の情報化に対して支援します。
- ・研修会・講習会を開催し、人材育成とネットワーク構築の場を提供します。
- ・職業訓練施設の運営に対して支援し、技術力の向上を図ります。

貿易・流通

敦賀港が発展してほしい 交通の要衝として、敦賀の特性を 発揮してほしい

船舶のコンテナ化と大型化

世界の物流で海上輸送の占める割合は依然として高く、港を経由した輸送はわたしたちの生活に欠かせないものとなっています。

その中で、海上輸送の技術革新が進み、貨物のコンテナ化や船舶の大型化が着実に進行しています。これに対応し、広大なコンテナ貨物保管場所の確保や大水深岸壁の整備が必要になります。

アジアの発展と環日本海経済圏

アジア経済の発展が著しい反面、日本の産業空洞化が懸念されていました。一方で、日本海沿岸諸国を環日本海経済圏と位置づけ、相互の経済交流を深める動きが活発になっています。

本市も環日本海経済圏に位置するとともに、重要港湾を有する都市であることから、環日本海経済圏の中で役割を果たすことが本市経済の発展に結びつきます。

しかし近隣には神戸港や大阪港・名古屋港といった指定特定重要港湾（国際競争力の強化を図ることが特に重要な港湾）とともに、舞鶴や北陸各県にも多数の重要港湾があります。敦賀港の発展のためには、競争力向上のための物流機能強化やポートセールス活動といった、ハード・ソフト両面での対応が必要です。

新しい敦賀港の姿

敦賀港は平成17年11月に、港湾整備計画が改訂されました。大型船に対応した大水深岸壁や埠頭用地を持つ多目的国際ターミナル、また北海道との物流を主とした国内海上輸送機能を備えた拠点港として、敦賀港の機能充実が計画されています。

こうしたハード面の機能向上と併せて、敦賀港の利用促進のためポートセールス活動等の強化が求められています。

また海上輸送は他の輸送手段と比較して環境への負荷が低いため、海上輸送への転換（モーダルシフト）を促進するための国の誘導策も必要です。

利用される敦賀港を目指して

港湾を利用する企業が、港湾を選択する際に何を重視するでしょうか？それは輸送の利便性と経済性です。

航路や便数が多くなれば、敦賀港の利便性は高まります。また、通関手続など港湾内の滞留時間の短縮や陸上輸送との連携なども、利便性向上のためには欠かせません。

経済性についても港内での荷役料金や使用料だけでなく、陸上輸送も含めた目的地までのコスト全体で敦賀港のメリットを打ち出していく必要があります。

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
敦賀港の年間貨物取扱量	敦賀港の物流の状況を表します。第1章「港湾整備」と併せた成果となります。	16,827,244	17,820,000	トン
敦賀港の年間コンテナ貨物取扱量		11,480	15,000	TEU

(1) 国内外航路の拡充・開設

既存定期航路の拡充

- ・敦賀・釜山間定期コンテナ航路の拡充を図ります。

新規航路の開設

- ・新規航路の開設に努めます。

(2) ポートセールスの推進及び貨物利用の促進

貿易振興団体の育成

- ・(社)敦賀港貿易振興会の組織や事業を拡大し、ポートセールス活動を強化します。

貿易・流通関連団体との連携強化

- ・(社)敦賀港貿易振興会を中心に関係機関と連携し、情報収集とポートセールス活動を実施します。

- ・新たに組織した敦賀港物流懇談会を通じて物流サービスの向上策を検討し、利用企業のニーズに応じて敦賀港の利便性を高めます。

コンテナ貨物の敦賀港利用促進

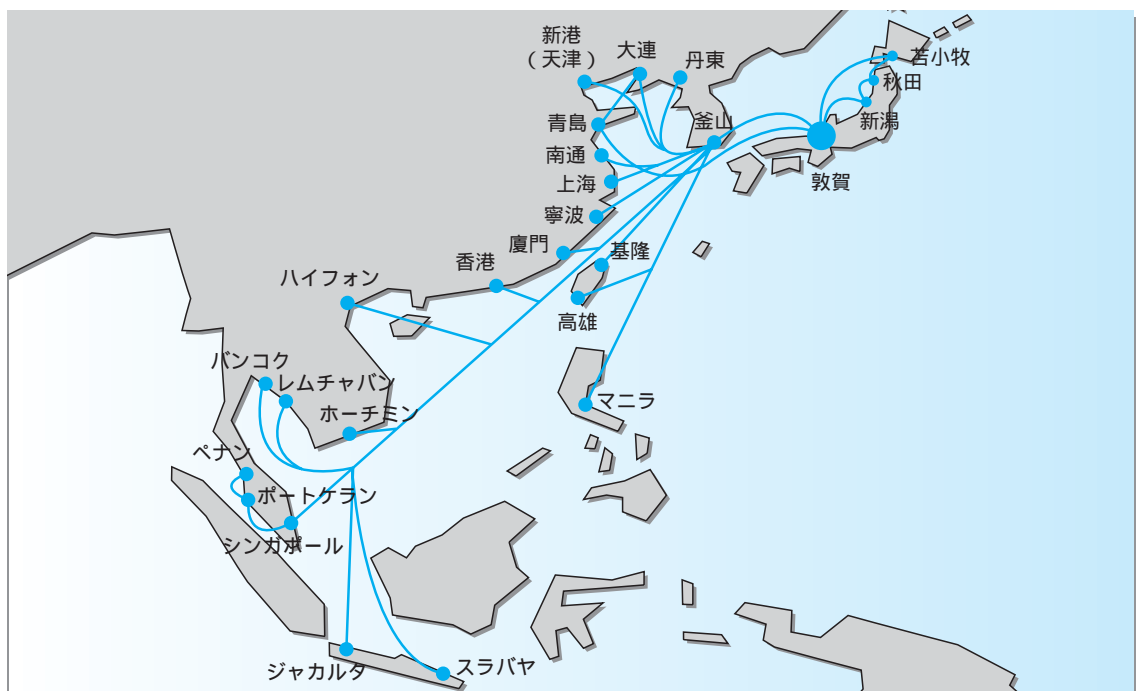
- ・コンテナ貨物の利用に対して助成し、コンテナ取扱量の増加を促進します。



(3) 貿易・流通関連企業の誘致

関連企業の誘致促進

- ・民間企業による港湾施設、物流施設を誘致します。
- ・海上交通と陸上交通のターミナルとしての敦賀港の立地特性を活かし、港湾後背地に港湾関連企業の誘致を進めます。



敦賀港の広域ネットワーク(平成18年3月現在)

エネルギーと地域振興

エネルギー産業を活かしたまちづくりをしたい
エネルギー産業に親しみをもちたい

エネルギー都市 敦賀

本市におけるエネルギー産業の位置づけは非常に重要です。日本立地センターが発表した敦賀都市圏（敦賀市、美浜町、旧三方町）の地域経済分析によると、本都市圏は全国で比較的上位の経済発展にあります。そして「電気・ガス・熱供給・水道業」つまりエネルギー産業が発展の基礎を支えていることが明らかになりました。敦賀都市圏で域外収支が黒字の産業は、建設業とエネルギー産業で、黒字の98%がエネルギー産業によるものです。

「エネルギー都市」のとしての市民の親しみを高める

このように地域経済においてエネルギー産業は大きな位置を占めています。しかしながら、本市がエネルギー都市であるという市民の意識は決して高いとは言えません。

エネルギー都市としての親しみを感ずる市民の割合は、平成17年度の調査で32.4%、14年度では34.9%でした。

エネルギー産業と地域が共生していくためには、多くの市民がエネルギーに対して理解と親しみを持つことが必要になります。

エネルギー産業を広く地域振興の原動力に平成16年度に「エネルギー研究開発拠点化計画」が策定されました。この趣旨はエネルギー産業と地域との共生を図ることであり、エネルギー産業を地域経済の中で裾野の広い地場産業と位置づけ、研究機関や人材育成機関の集積、地域産業との連携、技術移転を積極的に進めるなどの取組みが示されています。

また、安全・安心を確保するため、高経年化対策や地域の安全医療システム、陽子線がん治療を中心とした研究治療施設の整備などが示されています。

こうした取組みを通じて、エネルギー産業に対する市民の親しみを基礎に、地域との共生による「エネルギー都市 敦賀」としての地域振興を進める必要があります。

電源地域振興策の充実

電源地域の振興施策としては、国・県からの交付金（電源三法交付金）が地域振興に活用されています。

平成15年度の制度改革に伴い用途が拡大しましたが、地域振興のため、さらに使いやすい交付金となるよう、国など関係機関に要請する必要があります。

数字で見る敦賀市の将来像

名 称	内 容	現在数値	目標数値	単位
エネルギー都市としての親しみを感ずる市民の割合	エネルギー都市としての市民の評価を表します。	32.4	50.0	%
エネルギー研究センターの設備・機器の利用件数	エネルギー研究の進捗状況を表します。目標値は、設定しません。	1,420	-	件
税収に占める電力企業の割合	電力企業の財政への寄与を表します(予算ベース)。目標値は、設定しません。	27.8	-	%

(1) 原子力・火力発電所

- ・原子力・火力発電所の安全確保や環境保全を大前提として、発電所の運転に伴う経済波及効果を高めます。
- ・市民の理解と安全・安心を前提として、原子力発電を推進します。
- ・国のエネルギー政策に対する信頼と理解を深めるため、交付金の充実や用途拡大などの電源地域振興策を国・県に要請します。
- ・産業団地にエネルギー関連企業を誘致し、関係企業・研究機関を交えながらエネルギー産業との技術的交流・連携を積極的に進めることで、裾野の広いエネルギー産業都市として、地域経済の基盤を強化します。
- ・エネルギー研究開発拠点化計画に基づき、研究開発機能の強化や人材の育成・交流、産業の創出・育成を促進します。

(2) エネルギーの啓発

- ・エネルギーに親しみ、特色あるまちづくりを推進します。



敦賀3・4号機完成予想図

出典：日本原子力発電㈱ 報道発表資料

エネルギー研究開発拠点化計画

安全・安心の確保

高経年化対策の強化と研究体制等の推進
地域の安全医療システムの整備
陽子線がん治療を中心とした
がんの研究治療施設の整備

研究開発機能の強化

「高速増殖炉研究開発センター(仮称)」
「原子炉廃止措置研究
開発センター(仮称)」
若狭湾エネルギー研究センターの
新たな役割
関西・中京圏を含めた県内外の大学や
研究機関との連携の促進

人材の育成・交流

県内企業の技術者の技能向上に向けた
技術研修の実施
県内大学における原子力・
エネルギー教育体制の強化
小学校、中学校、高等学校における
原子力・エネルギー教育の充実
「国際原子力情報・

研修センター(仮称)」
国等による海外研修生の受入れ促進
国際会議等の誘致

産業の創出・育成

産学官連携による技術移転体制の構築
原子力発電所の資源を活用した
新産業の創出
企業誘致の推進

勤労者雇用環境

良好な環境で働きたい
勤労者としての生活を充実・安定したい

雇用の状況が変わっている - ニート、格差社会 -

福井県の雇用環境は、有効求人倍率が全国平均より高いなど、どちらかと言えば良好な状況にあると考えられています。しかし、景気の低迷による求人の縮小やフリーター（15歳以上35歳未満の学校卒業者で主婦でない者のうち、パート・アルバイトで働いている者および、パート・アルバイトで働く意志のある無職の者で家事も通学も就業内定もしていない者）に加え、ニート（非労働力人口のうち、15歳以上35歳未満で、学校に行かず、仕事に就かず、家事もしていない状態にある者）の増加など、雇用の問題は働く側、雇う側ともに、深まりつつあります。

また格差の広がりも重視されていますが、これはニートと勤労者との格差だけでなく、正規雇用者と非正規雇用者（アルバイト、パートなど）との格差が非常に大きいことが問題視されています。欧米諸国では制度上こうした格差は存在せず、法制度などの改正が望まれます。

また、いわゆる「団塊の世代」が退職する時期を迎えることから、高齢者の豊富な経験や知識を生かして地域貢献していただく場として、雇用を確保することも必要になっています。

勤労者の生活安定と充実のためにすでに雇用されている勤労者にも、事業の再構築（リストラクチャリング）などによって突然失業するのではないかと、という不安があります。住宅ローンや教育費など、経済的に余裕のない状況でリストラに遭遇することは、生活の崩壊につながるおそれもあります。

このようにさまざまな年齢層に雇用環境の課題があり、対策の一つとしてセーフティネット（サーカスの安全網のような、演技者（勤労者）の安全を護るために設置される仕組み）を構築する必要があります。

そして、勤労者が働く喜びを得ながら、生活全体に充実感を得られるよう、行政が支援する必要があります。



雇用相談

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
シルバー人材センターの就業延べ人数	高齢者の雇用状況を表します。	60,467	70,000	人
敦賀市の有効求人倍率	雇用の場の充実度を表します。目標値は、設定しません。	1.73	-	倍

(1) 就業機会の確保

雇用の創出

- ・ハローワークやジョブカフェ（若者就職支援センター）など、関係機関と連携しながら雇用拡大に取り組みます。
- ・産業団地への企業誘致を通じて、雇用の場の拡大を図ります。

中高年齢者、障がい者の就業機会の確保

- ・シルバー人材センターの活動を支援し、高年齢者の就業機会の確保を図ります。



シルバー人材センターの活動

- ・障害者地域生活支援センターにジョブコーチを配置し、障がい者の雇用促進、社会参加を図ります。
- ・団塊の世代が退職後、第二の人生を本市で送ることで、地域への貢献と自己実現が図られるよう、支援を進めます。

(2) 勤労者の生活の安定と施設提供

生活の安定と向上

- ・勤労者の経済基盤が安定するよう、各種融資を実施します。

中小企業退職金共済等 加入促進補助金

単独で退職金制度を設けることが困難な企業の従業員の共済加入費用を助成する。

勤労者生活安定資金貸付金

現在の職場で1年以上勤務している本市に住所を有する勤労者が150万円を限度に生活資金の融資を受けられる。

労働者福利厚生貸付金

労働組合に加入していない本市に住所を有する勤労者が、労働金庫から生活資金、福祉資金、住宅資金の融資を受けられる。

労働者生活資金貸付金

本市に住所を有する勤労者の生活安定のため、住宅資金等の融資を受けられる。

文化・スポーツ活動の充実

- ・文化・スポーツ施設の提供と利用を通じて、勤労者等の生活の充実に支援します。



男女共同参画センター体育館

商業の振興

賑わいのある中心市街地で買物したい
安定した商業経営をしたい
新鮮な青果物や水産物を買いたい

JR 直流化と中心市街地活性化

JR 湖西線・北陸本線が敦賀まで直流化され、関西圏と敦賀が直通の新快速電車で結ばれました。そこで、多くの人々が敦賀を訪れることができ、敦賀から関西にも気軽に出かけたり、通勤・通学も可能になります。

直流化によって本市に賑わいをもたらすためには、関西から多くの人々が敦賀を訪れ、食事や買物などの消費をしてもらうことが必要です。

そのためには、敦賀駅を降りて港に至る広大なエリア、とりわけ商業エリアとなる中心市街地の商業空間の魅力を高めていかなければなりません。

魅力ある商業の条件とは？

本市では魅力ある商業を創造するため、2つのソフト施策を開始しています。

第一に、「魅力あるブランドづくり」です。本市に潜在する食・歴史・文化・自然などの観光資源を掘り起こし、官民一体となって魅力ある敦賀ブランドとして関西圏に発信します。

第二に、「観光客誘致のためのおもてなし」です。敦賀を訪れた人が、温もりのあるおもてなしを受けることで、敦賀の印象が深まり、何度も訪れたいくなるまちになります。

これらの施策は、いずれかが欠けてしまうと敦賀を訪れたいという気持ちが大きく削がれますので、一体として進める必要があります。また、来訪者に心のこもったおもてなしをするには、市民一人ひとりが敦賀の魅力を実感していなければなりません。

都市の顔としての中心市街地

中心市街地は、都市の顔という意味で貴重な地域の財産です。敦賀ブランドの発信と併せ、中心市街地を敦賀の歴史や自然などの地域資源を感じることのできる商業空間とすることによって、敦賀にしかない「オンリーワン」の中心市街地になります。

そのためには、中心市街地の空き店舗を減らし、連続した商業空間であることに加え、都市の顔を持つ空間でなければなりません。

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
中心市街地における空き店舗数	中心市街地の商業環境を表します。	34	15	店
中心市街地で行っているイベントの延べ来客数	中心市街地の賑わいの状況を表します。	40,780	43,000	人

(1) 商店への集客支援

商業機能の拡充

- ・魅力ある商店街づくりを促進するため、中心市街地活性化対策事業として、電気料金の補助やアーケード補修など、各種支援を行います。
- ・民間活力を生かした賑わいのある街づくりを支援します。

魅力ある店づくりの支援

- ・周辺基盤整備とともに、消費者ニーズに合わせた個性と魅力ある店づくりを支援します。
- ・空き店舗に出店した個人・法人に対して家賃を助成し、中心市街地での創業・起業を支援します。

賑わいの創出

- ・敦賀まつりなど各種イベントの充実を図るとともに、関西・中京圏からの来訪を促す魅力あるイベントにします。



敦賀まつり

商品開発の支援

- ・敦賀独自の地域資源を活用したブランド化商品の開発を推進します。

(2) 経営基盤の強化

経営の近代化

- ・高度化・多様化する消費者ニーズに対応できる店づくりを支援するため、店舗経営の改善や業種転換等を行う事業主に対し、助言、指導などの支援を行います。

助成・融資制度の充実

- ・国・県等の各種助成・融資制度の活用を促進します。
- ・市の各種助成・融資制度を拡充し、商業経営者のニーズに応じた経営支援を行います。

(3) 卸売市場

公設卸売市場

- ・青果物の安定した供給を図るため、公設卸売市場を適切に運営します。

水産卸売市場

- ・水産卸売市場の改築を支援し、安定した水産物の供給を図ります。
- ・敦賀の水産物を貴重な観光資源と位置づけ、水産卸売市場周辺に小売機能や食の機能を加えるなど、来訪者が敦賀の魅力に触れることのできる施設とします。

観光の振興

敦賀の観光資源をPRしたい
多くの観光客で賑わってほしい

JR直流化を観光振興の転機に

本市の観光は、夏の海水浴シーズンに集中しており、しかも自動車を利用した観光が中心でした。JR直流化はこのような観光の現状を大きく変える可能性があります。

JR直流化によって、高齢者夫婦などが電車に乗って気軽に敦賀を訪れることができます。そこで電車で訪れる観光地の魅力を高める必要があります。

また関西からは敦賀が遠く感じられる「心理的距離」があると言われるのですが、関西で「敦賀行き」の新快速電車が走るだけでも敦賀が身近に感じられる「アナウンス効果」があると考えられ、観光客の増加が期待できます。

豊富な観光資源を総動員し、総合的な魅力を演出する

本市の良いところは何ですか？こう問われると、なかなか答えが出ないかもしれません。漠然としていますが、敦賀の代表的な魅力は、山や海など自然が豊富でゆったりした時を感じられること、美味しい海の幸、氣比神宮や金崎宮などの歴史資源、質の高い温泉などでしょう。

いろいろな魅力はあって良いのですが、これを一体的にPRすれば、さらに強い魅力となるのではないのでしょうか？そこで豊富な観光資源を総動員し、「歴史と風格のある港まち 敦賀」としてのイメージアップを図る必要があります。

敦賀の魅力的なイメージで来訪者にインパクトを与え、敦賀駅から港に至るエリアの魅力とアクセスを向上することが必要です。

魅力をさらに広げる広域観光へ

観光振興は、行政・関係機関との連携のみならず、広域化を推進することで、本市の魅力をさらに高めることができます。

JR直流化で近隣市町への来訪機会も増すため、動員する観光資源を広域に拡大し、さらに魅力を高めるための取組みが必要です。

また、インターネットでの情報発信やネット取引を通じた観光産業の振興も、全国への魅力発信を支える基盤となります。

数字で見る敦賀市の将来像

名 称	内 容	現在数値	目標数値	単位
敦賀市への年間観光入込客数	観光客の来訪状況を表します。	158	200	万人
きらめき温泉の年間利用者数	きらめき温泉リラ・ポートの利用状況を表します。	237,937	250,000	人
金ヶ崎緑地の年間利用者数	港の賑わい状況を表します。	185,652	200,000	人
物産展（京都市）の買物人数	本市物産の市外（京都）での評価を表します。目標値は、設定しません。	2,386	-	人

(1) 港まちらしい街並みの整備

港周辺の整備

- ・みなとを活かした観光振興による地域の活力向上を図るため、「みなと観光交流促進計画」（仮称）に基づくハード・ソフト両面の観光振興施策を進めます。
- ・本港地区に人が集う空間を整備し、憩いと賑わいのあるウォーターフロントとして再開発事業を推進します。
- ・赤レンガ倉庫や博物館など、レトロ建築を活かした港の修景整備を行うとともに、ライトアップにより空間の魅力を演出します。

広域観光拠点都市の整備

- ・JR敦賀駅舎の改築、及び駅周辺を整備し、広域観光の玄関口となる敦賀駅周辺の魅力を高めます。

(2) 自然・歴史資源、温泉の活用

気比の松原の保全と整備

- ・気比の松原の林内整備と浜地の清掃強化により、名勝の保全と松原海水浴場としての魅力向上を図ります。

温泉資源の活用

- ・観光資源としての温泉の魅力を高め、きらめき温泉リラ・ポートや敦賀トンネル温泉の利用を促進します。

遊敦塾（ゆうとんじゅく）の展開

- ・敦賀の魅力を来訪者に学び体験してもらう遊敦塾を展開し、来訪者自身が敦賀の魅力を実感し発信してもらう仕組みを構築します。

観光施設周辺の整備

- ・貴重な観光地の保全を図るとともに、駐車場やトイレを整備し、観光地の利便性向上を図ります。

(3) ソフト施策の展開

観光イベントの開催

- ・観光物産フェアを開催し、観光物産品のPRと販路拡大を図ります。
- ・本港地区でサマーフェスティバルなどのイベントを開催し、みなとまち敦賀の魅力を広くPRします。

全国への情報発信

- ・インターネットを活用し、(社)敦賀観光協会ホームページなどによる情報発信を充実します。
- ・観光パンフレットやポスターを作成し、各所に配付します。

観光資源のネットワークづくり

- ・自然・歴史的資源や観光施設を結ぶネットワークづくりを進めます。
- ・観光地を結ぶ多様な交通手段を確保するとともに、交通手段そのものにも魅力を持たせます。

観光関連団体の活動支援

- ・(社)敦賀観光協会の事業充実を支援し、官民挙げての観光振興に取り組みます。

広域観光の振興

- ・本市周辺の観光関係機関と連携を深め、広域観光を推進します。

観光施策と連携した産業育成

- ・本市の重要な地場産業である水産加工業については、各種物産展等への参加支援により、販路の拡大を図ります。

敦賀市の主な観光スポット



素足で歩きたい、越前若狭の港町

ロマンチック敦

あそびろ SIGHTSEEING

氣比神宮

市民に「けいさん」の愛称で親しまれる氣比神宮は、大宝2(702)年の建立と伝えられています。7柱のご祭神をまつる北陸道の総鎮守。明治に敦賀大社となりました。高さ11メートルの大鳥居(重要文化財)は春日大社(奈良)、厳島神社(広島)と並ぶ日本三大鳥居の一つ。元暦2年8月に松尾芭蕉が訪れ、境内には松尾芭蕉の像と句碑があります。市内に点在する芭蕉の句碑を訪ねてみてください。 ■電話(0770)22-0794



松尾芭蕉像

武田耕雲斎等墓



1864年、武田耕雲斎が率いる水戸天狗党は、幕主慶喜を増え争兵。朝敵に志を振えようと京都へ上る途中、敦賀で捕えられました。幕府は厳しい処刑を下し、翌年、米沢寺(松原)で353人が斬首されました。遺跡をはさむ松原神社境内には、一行が監禁されたニシン窟が記念館として残っています。 ■電話 松原公民館(0770)23-8890

金崎宮・金ヶ崎城跡

延元元年(1236年)豊後、豊前両親王を守護した新田義貞が足利軍と戦った古戦場で、中興の金崎宮には両親王が祀られています。また、戦国時代には信長・秀吉・家康が陣取りしました。山内一豊も秀吉に従って参戦しており、大功をあげています。小高い山にあるため眺めも良く、桜の名所としても知られており、春には毎年花まつりが開催されます。 ■電話 金崎宮(0770)22-0936



常宮神社

この祭神は神功皇后。氣比神宮の神皇天孫の妻で、「お慶の常宮さん」としてあがられています。毎年7月22日には、神皇天孫のご祭神が船で海を渡ってきます。「夏祭祭」という全国的にも珍しい行事です。国宝・朝鮮鐘が安置されています。 ■電話(0770)26-1040



国宝・朝鮮鐘

氣比の松原



白砂青松の氣比の松原は赤松、黒松約1万7千本が生い茂る国の名勝地です。三保の松原、虹の松原と並ぶ日本三大松原の一つで、一夜にして出来たという伝説があります。遊歩道も整備され、市民の憩いの場となっています。夏になれば、格好の海水浴場として京阪神や中京方面からの浴客でにぎわいます。 ■電話 観光案内所(0770)22-1520

西福寺書院庭園

約530年前、良朝上人が開いた浄土宗鎌西派の中本山です。市街地の西、大塚山麓にあり、四季折々の景観を見せられます。特に紅葉のころが美しく、浄土宗では北陸で唯一の名刹とされています。造られたのは江戸中期で、国の名勝に指定されています。重要文化財も多数所有。毎年11月3日に一般公開しています。 ■電話(0770)22-3926



柴田氏庭園

重豪・柴田権七衛門が、絵師・狩野探幽に地割り設計を任せたと伝わる築山泉水庭園です。江戸前期に出来たもので、別名「甘藷園」とも呼ばれています。参勤交代の折には、小浜藩士の休憩所にもなりました。趣向な古式書院造りと庭が、落ち着いた空間をつくり出しており、国の名勝に指定されています。



水島



敦賀半島の先端近くに浮かぶ小さな島です。海水の透明度が高く、美しいことから毎年、大勢の海水浴客が訪れるようになりました。島の周辺ではウィンドサーフィンやダイビングを楽しむ若者が目立ちます。夏には、色ヶ浜と浦から運ばれ船が出ます。

みなとつるが山車会館・市立博物館

みなとつるが山車会館には、敦賀まつりに使われる山車を展示しています。1階が展示室やホール。ビデオプロジェクターとスライドを使った迫力ある山車巡行の映像が見られます。2階には常設展示室やギャラリーなどを備えています。とくに輝く市立博物館は、昭和2年に完成した日本銀行銀行で昭和初期の「日本三大建築物」の一つに数えられていました。戦士の偉人・大和田荘七が建てたものです。館内には敦賀の歴史や民俗、美術に関する資料が並べられています。



みなとつるが山車会館 ■電話(0770)81-6670

市立博物館 ■電話(0770)25-7030

お祝い。

おみやげ SOUVENIR

名産

- 空らかん ●球肥田布
- 昆布佃 ●昆布せんべい
- かたパン ●気比屋中
- 吉徳ゼリー

土産物

食品

- かまぼこ ●焼もちくわ
- おぼろ団子 ●とろろ
- 豆 ●小巻のささ漬 ●鯖すし ●ニシンすし
- うに ●さばすし ●へしこすし ●鰯節がに
- 笠簀ひく ●甘えび



プレイスポット

サンピア教賀

1800平方メートルのアイスアリーナ(冬季)、夏は流氷プールや滑り台を備えたレジャープールがオープンする厚生年金施設です。年間を通して利用できる大浴場やカラオケルームもあります。レストラン、宿泊施設も利用できます。

■電話(0770)24-2111



こどもの国



市内松川(松原海岸近く)にある子供のための施設です。芝生が生える広い敷地には、ブランコや滑り台などの遊具が置かれています。施設の隣にはプラネタリウム、工作室などが備えられており、情操教育に役立っています。

■電話(0770)25-7879

教賀温泉自慢

教賀トンネル温泉

- JR教賀駅から車で10分
- 教賀駅から車で5分
- 電話/0770-22-4551(北国グランドホテル)
- 効能/神経痛・リウマチ・婦人病・美容など
- 泉質/アルカリ性単純温泉



総合運動公園

野球場をはじめ陸上競技場、軟球場、テニスコートなどが整備されています。中でも、総延長415メートルのジャンボ滑り台は子供たちに大人気。最長が30メートル、最速が14メートルの計7コース。最高速が最大21.5メートルでかなりのスリルが味わえます。■電話(0770)22-8154



鞠山海遊パーク



教賀湾沿いに整備された親水エリアです。遊遊びができるよう、大小の石が敷き詰められた遊歩道が敷かれています。憩いの場としてベンチや花なども置かれ、トイレも完備しています。すぐそばには釣り公園があり大勢の釣り客が訪れています。

リラ・ポート

「美肌の湯」教賀きらめき温泉

- JR教賀駅から車で10分
- 教賀駅から車で5分
- 電話/0770-24-1128
- 営業時間/10:00~22:00
- 効能/神経痛・腰痛病・うちみ・皮膚病など
- 泉質/ナトリウム硫酸水素塩泉
- 料金/大人1,000円 子供500円
- 定休日/第1,第3火曜日他



晴明神社

教賀市相生町の教賀市立博物館のすぐ近くに「晴明神社」と、御神木の「大イチョウ」があります。安徳頼朝は正暦年間(990-994年)のある時期、この地に住み天文、地文の研究を重ねたと言われています。社は南北朝時代の金ヶ崎殿、徳原と頼朝・義経の戦いでも焼けなかったそうです。以来、防火の神として信仰を集めてきました。教賀を訪れ、晴明が住んでいた一帯を歩いてみてください。



西浦自然活用村



テントサイトは25張り、駐車場、炊事場、コイン式シャワーもあります。キャンプ場内には水屋豊富な滝が流れ落ちており、夏は涼味満点です。イモ蒸りが体験できる学習遊園もすぐそば。近くには釣り場施設が併設されており、海釣りもOKです。夏休みなどに家族連れで利用するには最適です。■電話(0770)26-1813

アクアトム

「海」とエネルギーをテーマにした科学施設です。簡単な実験や調べごとを通じて最先端の科学について楽しく「見る、触れる、感じる」ことが出来ます。「アクアトムライド」では大型映像が流れ、高度約10メートルのジェット体験が楽しめます。日本で唯一のロケットシューラカンスが様々な宇宙探検を体験できる高さ30mの展望台などもあります。

■電話(0120)88-3196



お問い合わせ先 ●教賀市産業経済部商工観光課 TEL(0770)22-8128 / 教賀観光案内所 TEL(0770)21-8686

観光案内チラシより

農業の振興

農業経営を安定したい 住みやすい農村で暮らしたい

農業経営が厳しさを増す中、農業を見直す動きが出ている

本市の農業は兼業農家の割合が高く、農業のみで生計を維持する世帯は、非常に少ない状況です。産業として農業を見た場合、農産物の輸入拡大や農業従事者の高齢化、担い手の減少など、厳しい状況が続いています。

そこで多様な農産物に応じた、きめ細やかな振興策が求められます。一方で、日本の農業を見直す動きも出ています。例えば、生産履歴（トレーサビリティ）の表示です。トレーサビリティとは、生産、処理・加工、流通・販売等の段階で、食品の仕入先、販売先、生産・製造方法などの履歴を明確にできるもので、消費者は安心して食品を食べることができます。

また、グリーン・ツーリズムが提起されています。都会の喧騒から離れ、農村で自然に触れながらゆっくりと過ごすため、農村で受け皿づくりが行われています。農業は、生産物を販売するだけでなく、「空間と時間」を販売する場としても注目されていると言えます。

(1) 農業経営の基盤強化

営農集団の育成

- ・集落営農組織の育成・強化を図るとともに、法人化を推進します。

中核農家の育成

- ・認定農業者の育成を推進するため、各種支援策を実施します。

園芸施設、園芸作物の導入

- ・園芸作物（野菜、果樹、花き）の導入促進により、水稲中心の農業経営から複合経営に向けた支援を実施します。

耕作放棄地の防止

- ・耕作放棄地の防止と農地の有効利用を促進します。

畜産の振興及び環境にやさしい農業の推進

- ・受精卵移植等の技術活用や予防接種の実施により、伝染病の防止に努めます。
- ・堆きゅう肥の利用による有機農業を推進し、環境にやさしい農業を推進します。

数字で見る敦賀市の将来像

名 称	内 容	現在数値	目標数値	単位
ほ場の3反町以上区画の面積	合理的な農業経営として、大規模農場の状況を表します。	397	437	ha
野菜の販売量	野菜生産の振興状況を表します。目標値は、設定しません。	93	-	t
田んぼの学校参加者数	農業生産の体験及び農地の重要性についての、子どもの学習状況を表します。	223	562	人

(2) 作物別生産対策

水稲

- ・低コスト稲作の推進及び高品質良食味米の生産に努めます。
- ・担い手農家への農地集積、生産組織の再編強化を進め、生産体制の効率化を進めます。

麦・大豆

- ・栽培適地での集団栽培の推進と品質向上対策の徹底を図ります。

野菜

- ・周年型栽培の導入や、集約的な施設栽培を推進します。
- ・JAへの集荷体制（契約出荷含む）の確立に努めます。
- ・消費者のニーズに対応した多様な地域特産物を導入し、地産地消を推進します。

花き

- ・消費者のニーズに即した生産振興を図るため、施設・流通体制の整備を図ります。
- ・適期出荷及び組織による計画的な生産拡大を図ります。

果樹

- ・東浦地区の観光みかん園の充実を図ります。
- ・ウメの加工出荷体制の整備を図ります。

畜産

- ・畜産農家に対する定期的な巡回指導、技術指導を実施します。
- ・酪農・肥育・繁殖事業の促進と畜舎等の生産基盤整備の推進を図ります。

(3) 生産基盤の整備

- ・敦賀西部地区において、中山間地域総合整備事業を実施し、中山間地域の立地条件を活かした活力ある農村づくりを進めます。
- ・農業用排水路の改修及び農道整備を推進します。

(4) 交流事業の推進

観光農業、体験農業の推進

- ・グリーン・ツーリズムなど都市住民との交流や体験農業、観光農業を推進します。

林業の振興

林業経営を安定したい
森林資源に身近にふれたい

森林保全のいろいろな意義

本市の林業従事者は減少傾向が著しく、担い手の育成が重要課題となっています。また、安価な外国産木材の輸入などもあり、林業経営を取り巻く環境は、ますます厳しさを増しています。

しかし、森林資源は林業経営の基盤だけでなく、水源かん養や国土保全機能などの公益的機能を有しています。そこで、森林の保全と適切な管理は、公的な支援も必要です。

このため、林業基盤の整備や経営の近代化など、林業生産性の向上や担い手の確保、育成は引き続き重要な課題です。

また、グリーン・ツーリズムが注目され、ゆっくりと自然に触れるニーズが急増しています。森林資源の意義は、都市住民との交流の場としても注目されています。



野坂いこいの森

森林の多面的機能 (林野庁HPより)

- 生物多様性保全
遺伝子保全、生物種保全、生態系保全
- 地球環境保全
地球温暖化の緩和
地球気候システムの安定化
- 土砂災害防止機能 / 土壌保全機能
表面侵食防止、表層崩壊防止
その他の土砂災害防止
土砂流出防止
土壌保全（森林の生産力維持）
- 水源かん養機能
洪水緩和、水資源貯留
水量調節、水質浄化
- 快適環境形成機能
気候緩和、大気浄化
快適生活環境形成
- 保健・レクリエーション機能
療養、保養、レクリエーション
- 文化機能
景観（ランドスケープ）・風致
学習・教育、芸術、宗教・祭礼
伝統文化、地域の多様性維持（風土）
- 物質生産機能
木材、食糧、肥料、飼料
薬品その他の工業原料、緑化材料
観賞用植物、工芸材料

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
林道の総延長	林業コストの低減に寄与する林道の整備状況を表します。	70,258	71,000	m
いこいの森の年間利用者数	森林の多面的な機能を体験する場の利用人数を表します。	69,500	75,000	人

(1) 森林資源の整備

森林の保育

- ・ 松くい虫防除を推進し、貴重な松を守ります。
- ・ 間伐や枝打ちなど、森林保育の活動に対して支援するとともに、間伐材の有効活用を図ります。
- ・ 市行造林保育事業を推進し、官民協働による造林・保育を行います。

(2) 林道の整備

林道網の整備

- ・ 林道・作業道の改良や舗装を推進し、林業経営の効率化を図ります。
- ・ 新規林道として、奥麻生線、外ヶ谷線、唐子線を整備します。



林道沓見線

(3) 担い手対策

森林組合の強化育成

- ・ 森林組合育成強化のため、森林組合の活動に対して支援します。

林業従事者の発掘養成

- ・ 退職共済事業を支援するなど、林業従事者の確保に努めます。

(4) 交流事業

野坂いこいの森の整備拡充

- ・ 野坂いこいの森の施設を適切に管理するため、施設の修繕や遊具の充実を図ります。

森林公園の整備促進

- ・ 天然林や溪流を生かし自然と触れあう森林学習・林業体験・レクリエーション施設等総合的機能を持つ森林公園（黒河地係）の整備を促進します。

漁業の振興

美味しい海の幸を食べたい
漁業に身近にふれたい

「海の幸」の価値を高める「ブランド化」

本市の基幹漁業は、定置網、延縄、刺網、一本釣りによる沿岸漁業と養殖漁業に大別されます。漁家、従事者数、漁船数は減少傾向にあり、漁家の大半は漁業、民宿経営等との兼業漁家となっています。

本市の漁業は高付加価値化を進めるため、「敦賀ふぐ」を商標登録し、ブランドとして広く普及する活動などを展開しています。今後はJR直流化に伴う賑わい創出に向けた敦賀の魅力として、大いに活用することが期待されます。



敦賀ふぐ

観光資源としての漁業

「敦賀ふぐ」だけではなく、広く敦賀の美味しい海産物を多様な商品に加えることで、敦賀の魅力ある食文化を関西圏に発信することができます。現在ブランド化が進められている「敦賀ラーメン」にも、麺に昆布を練りこむとともに、スープや具にも豊富な魚介類を加え、敦賀のいろいろな魅力がおいしく味わえるように工夫されています。

また、水産卸売市場が新しく整備され、周辺に小売機能が設けられることとなります。これまで、単発のイベントなどで敦賀の水産物を販売していました。JR直流化が実現することで新鮮な海産物を「いつでも、気軽に」購入できるようになります。

さらに、新たに立ち上げた「遊敦塾（ゆうとんじゅく）」で、海洋や海の幸について関西圏の来訪者に学んでもらうことができます。敦賀の魅力が深く理解されることによって、来訪者自らが地元で敦賀の魅力をPRしてもらう仕組みを取り入れています。

数字で見る敦賀市の将来像

名称	内容	現在数値	目標数値	単位
漁獲高	漁業の振興状況を表します。目標値は、設定しません。	84	-	千万円
漁港の静穏度	給油・漁具積み込み作業の安全性を表します（30cm以下は安全な水準）。	40	30	cm

(1) 水産資源の保全

漁業環境の保全

- ・ 漁場環境の向上を図るため、湾内の海底堆積物の除去、耕耘を実施します。
- ・ 養殖事業の安定経営を目指し、養殖事業の指導等支援を行います。

水産資源の保護

- ・ 稚貝・種苗等の放流や魚礁の設置など、水産資源の増繁殖に努めます。

(2) 漁港の整備促進

- ・ 立石漁港整備事業を推進します。
- ・ 浦底漁港（色浜）整備事業を推進します。

(3) 漁業観光

観光的漁業経営の促進

- ・ 地引き網体験など、体験型観光漁業を推進します。
- ・ 遊敦塾（ゆうとんじゅく）の運営を通じて敦賀の海の幸などを学んでもらうことで、敦賀の魅力をPRする人材を養成します。

水産卸売市場の改築推進

- ・ 敦賀の水産物を貴重な観光資源と位置づけ、水産卸売市場の改築を推進するとともに、来訪者が小売機能や食の機能を気軽に楽しめる周辺環境整備を支援します。



立石漁港



色浜漁港